

麻生地区まちづくり懇話会会議録

と き：平成30年8月6日（月）午後7時～午後8時42分

ところ：麻生地区活性化センター

出 席：

（市 側） 市長、総務部長、市民生活部長、福祉保健部長、経済部長、建設水道部長、
教育次長、消防長

（事 務 局） 秘書広報課長、企画財政課長

（麻生地区） 48名

進 行（秘書広報課長）

1. 市長あいさつ
2. 出席者自己紹介
3. 前回（平成28年度）出された質問等に対するその後の対応状況報告（総務部長）
4. 市政報告（総務部長、教育次長、消防長）

総合計画など主要施策の進捗状況について「まちづくりレポート」に基づき説明を行う

5. 意見交換会

意見①

麻生では過去2回避難勧告がでた。勧告を出すのも市長の決断だと思うが、いつも危険な状態になってからしかでない。この場合、雨による河川の増水、いずれの避難勧告も土砂災害の危険性があるとだされたが、活性化センターが公設の避難所としてあるが、避難勧告が出た時点で川が増水していて移動するのも危険。避難準備の発令を有効に使う、台風などは予測できるので対応できるような状況で発令してほしい。

下麻生地区や麻生は川が増水すると道路が冠水しそうな箇所がある。そのようなところはガードレールがない。冠水しそうなところは川との高低差がないのでバードレールがない。増水した時は避難する際、川と道路の境がわかりにくく、安全確保が難しく危険性が高い。冠水箇所は道路をかさ上げするにはお金がかかるので、ガードレールをつけることを優先順位をつけて設置してほしい。

回答

今回、避難勧告は市内全域に出しました。これは駅館川が氾濫危険水位を超えたということ、河川もそのような状況になったということ。その前に17時30分に麻生地区、山袋地区、黒地区に避難勧告を出しました。気象庁が作っているシステムで5キロ四方をメッシュで引いています。その中で危険が高まったということで、避難勧告を出しました。この前に大雨が予測されたということで、17時には中学校区を中心に市内7カ所に自主避難所という形で開設しましたが、あまりにも雨が急激に増え、しかも麻生地区を中心に大

きな雨雲が来たので出しました。貴重なご意見だと思いますし、皆さん方には非常に不安な夜を過ごしたと思います。避難所を開けるとか避難勧告を出すというのは我々も少しでも早くと考えておりますし、避難勧告を出す時期も一定の基準を持っています。県とも情報を共有し、不安解消に努めていきたいと思っています。

回答

ガードレールの件ですが、道路が冠水しそうな場所はたくさんあると認識しています。大変危険だと感じています。道路についてはガードレールを設置するにあたっては道幅を拡幅しないとつけられないという技術的なこともあります。2mというポールで対応する方法もあろうかと思いますが、ガードレールに代る有効な対策だと思います。上麻生の危険な箇所もあると思いますので、お呼びいただければ土木課職員と現地を確認したいと思います。

意見②

避難勧告、避難準備情報とか、雨が激しくなくても市民については、警告が出ることで避難の準備を始めようと、麻生では一時避難所として各集落で民家やお寺など9か所設けている。さらに危険になった場合は公設避難所に避難しようと、自主防災としての活動をしている。避難経路の確保も含めて計画をしてほしい。

回答

自分の身は自分で守る自助、近所の方々と助け合って避難所に移動する共助。そして行政が避難所を開設する公助。皆さん方の生命を守ることが大切と考えていますので、まちづくり協議会単位で防災訓練を開催する場合は職員を派遣しますので、お声かけいただき避難時の在り方等について話しをさせていただきたいと思います。今回のように短い時間に一気に水が上がった場合など行政の手が及ばない場合は、一刻を争うので、近所の方々でお互いに自主避難所に誘導するなど行動をお願いする場合があります。平時に市民のみなさんの防災に対する意識の向上などに係っていききたい、支援を行っていききたいと思います。

意見③

区長を中心に独居老人などの安否確認など情報収集を行い区長のところに情報がすべて集まるようにしている。そのような関係で自主避難する人はいないか、応援する必要はないか地域の中でそういう取組ができるしくみになっている。避難する場合の経路の安全性確保が必要だ。

回答

耶馬溪での4月の大規模土砂災害はどこでいつ起こるがわからないということで、土砂災害ハザードマップを作るようにしています。市の職員やコンサルも入り、危険箇所からいかにみなさんが避難するか、経路を図面に落としてハザードマップを作りますので、その折にもみなさんにご協力いただきたいと思います。

意見④

院内の測候所があるが、院内という形で降水量がでているのか。どこが掌握しているのか。

回答

気象庁が観測しています。ただ、宇佐市内も何ヶ所か雨量計を置いていますし、県の防災システムがありますので、どこでどのくらい雨が降っているか、確認ができるようになっています。

意見⑤

麻生で測っているのは降水量がどのくらいであったのか、市にいつも連絡が来ているのか。

回答

危機管理課に入るデータを分析しながら、いつも確認しています。気象庁からくる雨雲の状況がよくないということから避難勧告を出したということです。市内でも駅館川が過去にない状況でした。県や気象台などと台風対策会議をインターネット上でしています。情報はいつも掌握しています。

意見⑥

中麻生はアンテナの改修が今度あるが、中麻生は井ノ川と床並の部落があるが床並は最初共聴する時入れてなかった。部落は遠いからアンテナの工事費がかかるので別にしてくれと言われていた。今回、中麻生が光ファイバーの工事をするとうNHKから説明があった。その時も床並地区も一緒にしてほしいと言ったが、NHKは断固として「4軒しかない部落はできない」と言われた。中麻生として床並は寄合とか行事など一緒にして協力しているので、のけ者にしないで、行政で予算でも組んでもらって中麻生全体として共聴してほしい。

回答

今、NHKがしているのは、昔、共聴アンテナをしていたところを再度、光ファイバーでやりかえている事業と聞いています。幹線のところはNHKがして、引き込みなど個人の家庭に引き込むところは個人負担で行っていると聞いています。これについては、一度NHKに確認させていただいて、出来ることなら一緒にするのがいいので確認させてください。

意見⑦

NHKに何度も要求したが絶対出来ないと言われた。伊賀さんが市役所をお願いをしたが、区長が来いといわれた。その後行ったかどうかかわからない。また、伊賀さんは熊本のNHKまでも行ったが一個人が行っても受け付けてくれない。都合のいい時だけ一緒にやり、困った時は助け合わないということのないよう部落でまとまってやっていきたい。

NHKが出来ないのなら、市役所でできないのか。線をひくのはかえってお金がかからない、公共事業ですから結構高くなる。私が電気屋をしているので工事代が各自7万といのは高いのではないかと考えていたら、横山地区は3万5千円でできた。そういうこともあるので、できればたった4軒なので、中麻生地区としてどうか協力をしてもらったらいいのではないかと思います。

回答

情報統計の方にも来られたということなので、確認してお答えしたいと思います。

意見⑧

その後の対応状況の8番だが、28年度に1カ所の離合所の整備をしていただきありがとうございます。あと一番必要なところが残っている。落石が非常に多く雨が降った後は、特に車から降りてのけないと通れない状況なので、早いうちに現地を確認してもらい設置をお願いしたい。また、その箇所だけでも道路幅の拡幅をお願いしたい。

回答

前回のご要望で1カ所は設置したが、進まなかったということでご迷惑をおかけしています。拡幅出来るところから行っていきたく思いますので、再度現場確認させていただき、今後のことを検討したいと思います。市道区間については土木事務所ともご相談しながら出来るだけご要望にお応えできるようにしていきたいと思っております。

意見⑨

前回の時に舟木峠の道路の陥没など調査をして直していただいたが、同じような場所で法面の崩落が一部発生しており、また、大きな木が倒れて道路を塞いでいたのでその分の補修をお願いしたい。支障木が落ちてきたり、枝が落ちている部分もあるので、伐採していただきたい。

回答

それは灘のほうということで良いのでしょうか。また、土木課から区長さんに連絡をして現地を確認したいと思います。法面が崩壊しているところなどは危険度や緊急性を勘案してなるべく早く対応したいと思います。

支障木は基本、所有者にさせていただくのが筋ですが、わからないというのであれば市が対応しますので、まずは現地を確認させてください。

意見⑩

先ほど河野さんからも要請があったように、ほとんどの自治区で共同アンテナをしている。今回、光ファイバーの話があった。川の前後を挟んで、お前たちのところは自分たちでしろ、NHKがみないということでした。これは差別になるのではないかとすると、大分のNHKに電話してくれた。都合が悪いことは、九州で唯一に共聴の世話をしている熊本県の総務省に問い合わせたといわれたので私が電話をすると、1週間くらいで回答が

きた。市の助成で作ってくれないか、総務省は法律でそうなっているからということだった。市でなんとか善処してもらいたい。

中麻生自治区にため池がある。市の危機管理課や警察等にも集まって見てもらった。少しふくれているということで、今年に入ってみてもらったら、地元負担でやれと言われた。使っていたら1割くらいの負担でできるとのことだが、膨大なお金がかかるので、げたをなげている状態だ。この前のように満タンになれば水を排水しているが大雨になればできない。そういう状態の池があるということだけ申し上げたい。

回答

市内には数多くのため池があります。まず、市のため池台帳に載っているため池とそうでないため池があります。この区分はどこでされるのかというと利用する農地の面積が大きいものであったり、ため池の下流に家があったり、公共施設があったり、何らかの被害及ぶおそれがあるものをため池台帳に載せています。今回のため池は限られた範囲のため池で、なかなか大きな手が入らないというのが現状です。市でもいくらかでもということで2分の1程度の市の補助で出来る対応策もあります。かなり地元の負担が大きくなるということもありますが、一度ご相談していただいて何らかの善処策があれば進めて行っていただきたいと思います。

意見⑪

マサヌキ池の件だが、補修が終わったと書いているが、確認した時は直径1m、まだ穴が開いている。耕地課の佐藤さんとは、これが穴を塞ごうと取り敢えずは水量を半分くらいにしてみようと。この池を満タンにしても1日くらいで水が抜けてしまう。恐らく今年には池を抜くようになると思う。池の下に山口で人災が起きるのではないかと心配している。穴は埋めているのか。

回答

耕地課からの報告では、当時の区長、ため池の管理責任者、耕地課で現場を確認して状態を持ってどのような対策ができるかということで、支障のある箇所をコンクリートで補強を行っているという状況は聞いております。まだ、支障があるということであれば、現場を耕地課で確認させていただきます。

意見⑫

私たちは大変危険だと認識している。穴があいているのも10年前くらいから開いている。かなり浸食していると思う。おそらく大変なことになるだろうと思う。

回答

非常に危険な状態であるということですので、再度、耕地課、区長さん、ため池の責任者の方と現地を確認させていただければと思います。市では、国、県の力を借りて、ため池の下流に家があるとか危険が予想されるため池のハザードマップ作りをしています。できましたら、それぞれの地区の区長さんや公民館に配布し、説明も合わせてしていきます。

意見⑬

中麻生のホテルの宿の入口の橋が通行止めになった。ホテル観賞が 29 年続いていたが中止となった。今後その橋をどのように対応していくのか。

平成 32 年にデジタル化になる予定になっている防災無線について理事会で要望しましたが、すべての方の耳に入る施設にしていきたい。夜になると外の放送は聞こえない。日中は部屋の放送は全く聞こえません。災害は昼夜問わずいつ起こるかわからないので、全員の耳に入るように要望しています。

回答

井ノ川床並線は今工事をしています、それと相まって旧道の橋ということでもよろしいですか。石橋ということで、今年度対応は困難ですが、土木課で確認はさせていただいていますが、だいたいの概算はでているのですが、石橋を補修するとなると技術的にどうかということもあります。土木の職員を派遣させていただきますので、なるべく早く復旧にむけて対応していきたいと思います。

回答

防災無線については、基本計画の策定に入っています。防災無線は宇佐・安心院・院内についてはそれぞれシステムが違います。それを一元的に管理できるような機器を置いて運用しています。安心院は全戸に戸別受信機が入っています。院内、宇佐一部に戸別受信機が入っています。市民のみなさんから聞こえないという声もいただいています。これまでのアナログ方式からデジタル方式になって行く中で、戸別受信機が設置ができる方向で考えていきたい。いろんなニーズがありますので、防災無線を変更する時に全市民が危険な時に様々な手段で情報が取得できるように計画を進めたいと思います。若い人たちはスマートフォンでアプリを取れば防災情報が取れるなど、様々な機能を持たせた防災無線を整備していきたい。屋外にある拡声ですが、最新のスピーカーにしてクリアな音声がとれるようにするなど、みなさんの要望を盛り込みながらどのように情報提供していけるか、市民委員会または、説明会等で意見をいただきながら検討していきたいと思います。

意見⑭

地区の廃屋の問題です。高齢者が一人で住んでいた家がなくなったことにより、1、2年で住める状態でなくなる。相続人もわからないのもるので、対応してほしい。

凱旋門を通行止めをしているが、土木課から 10 月くらいに開通すると聞いているが、通行止めする段階までに戻してもらい、切り替えを早めに仕事が終わった段階で完了してほしい。

大雨の災害で、遺跡等が下麻生の中で 3 カ所ある。小規模の災害対策であれば地元は 25%負担だ。負担を求められる時、金額が少しあがるとこちらは地元から要望を受けていたのに、話は市役所をしていたのに、金が高いからやめてしまう。それによって大きな災害が発生してしまう。

この施設を葬儀会場に利用したいという要望があり、市役所に話をしたらオッケーとい

うことだが、運営は地域づくり協議会が全員で申込みをしたのなら話は進むが地域づくりがいいと言わなければ出来ないと言われたので、真相を知りたい。

回答

空き家対策については、あくまで所有者の責任で行っていただきたいと思いますが、倒壊の危険があり、生命、財産を及ぼすような案件であれば今回調査が出来るようになりました。登記簿や住民票や課税台帳などの調査が出来ますので、納税管理人に対して適正な管理や解体撤去などを勧告、命令等を行ってまいります。所有者が危険家屋を除去するとか解体費用を二分の一の補助をしますので、活用していただけたらと思います。

凱旋門については約3年にわたって通行止めをしておりましたので、みなさんにご迷惑ご不便をおかけいたしました。10月15日に落石防止工事が完了するということですので、11月早々には開通すると思います。

回答

コミュニティの施設を葬儀に使いたいというご意見ですが、この施設は麻生の活性化センターです。最初にこのセンターを作った目的もあろうかと思えます。これまで、幾度となく話をしているとのことですが、今、この場でどのようにしていこうというのは難しいし、協議の場も必要と思えますので、耕地課と協議をして結果を改めて区長さんにお知らせしたいと思えます。

市長回答補足

避難勧告の関係ですが、今回の西日本豪雨の際に多くの雨が降りました。気象庁の雨量計が何ポイントかありますが、院内の羽馬礼では降り始めから350ミリ程度、安心院の釜ノ口で361ミリ、平野部でも300ミリ近く降りました。宇佐市での大きな河川のうち、駅館川、寄藻川は氾濫危険水位を突破しましたが、伊呂波川は今回突破するにいたりませんでした。一番最初に麻生地区にたくさん雨が降って、伊呂波川が危ないということで、最初に避難勧告を出しましたが、駅館川が危険氾濫水位を超えました。まず、避難準備情報、そのあと避難勧告、避難指示と3段階に分かれて行政がお知らせするのですが、西日本豪雨の際に指摘されているのは、判りづらいのではとたくさんのご意見をいただいていますので、伝え方について今、国のほうでも検討しているようです。もっと切実感がない、何をどうすればいいのか判らないということでしたので、出来るだけ、どういう状況で、どのようなことをお願いしていくのか、わかりやすいタイミングをさらに研究していきたいと思えます。

ため池については、西日本豪雨の際にもため池があふれて決壊するということがありました。農水省のほうでも、ため池を点検してほしいという要請がありましたので、緊急点検を行った次第です。宇佐市では300超抱えていますので、すべてを改修するというのは現実的には困難ですが、ハザードマップをつくれれば、もし、決壊した場合にはどこまで浸水してどこまで危険か、可視化する状態をつくっていますので、早めに避難することができます。ため池対策については、国のほうに要望していきたいと思えます。

空き家対策については、レポート中で説明した通り、条例を変え、空き家特措法に基づ

いて、台風がきたら屋根が飛ぶとか不衛生な空き家は特定空き家に指定ができるようになりました。所有者に対して、指導や監督命令ができるようにしていますが、所有者がどこにいるかわからない場合もあるので、緊急安全代行措置ができるような準備をしています。基本的には所有者に説明をして、自主的に執行してもらえるように事前指導・事前協議を条例にうたい込んでいます。